

カサゴ「大きくなあれ」



園児が稚魚1万2500匹放流

焼津漁港

日本釣振興会県支部は19日、焼津市の焼津幼稚園の園児を招き、カサゴの稚魚約1万2500匹の放流を同市鰯ヶ島の焼津漁港親水広場ふいしゅーなで行った。豊かな釣り場を育むことや子どもへの自然教育を目的とした毎年恒例の取り組み。

同園の年長児32人が体長5センチほどの稚魚が入ったバケツを手に取り、「大きくなあれ」と一斉に海に放った。稚魚は3年ほどで成魚に育つという。同支部では焼津の他にも県内各地で放流事業を展開している。

(焼津支局・市川淳一朗)

バケツに入った稚魚を海に放つ園児

＝焼津市のふいしゅーな

記事を読んで、問いに答えましょう。

- ①写真の園児たちが放流しているのは何という魚ですか。 (**カサゴ**)
- ②放流している魚の体長(大きさ)は何センチほどですか。 (**5**) センチ
- ③「稚魚」と反対の意味がある言葉を記事中から探して、漢字2字で書きましょう。
(**成魚**)
- ④この園児たちはどんな気持ちで魚を放流していると思いますか。記事から想像して、30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

(例)

・「大きくなってほしい」という気持ちで放流しているだろう。(28字)

・「元気で育ってほしい」という気持ちで放流しているだろう。(28字) など

年 組 名 前